

魅力ある高等教育づくりと活力ある地域づくりに貢献することを目指します。

# 大学地域コンソーシアム鹿児島Newsletter

## 編集・発行

大学地域コンソーシアム鹿児島事務局 〒890-0065 鹿児島市郡元1丁目21-30  
TEL 099-285-7315 E-mail : ksomu@kuas.kagoshima-u.ac.jp  
<https://www.kagoshima-u.ac.jp/renkei/>

第4号  
令和6年3月

県内高等教育機関に対する自治体、産業界及び一般団体からの課題提起—鹿児島  
の発展（地域産業の活性化、人手不足の解消など）のために、郷土教育・鹿児島  
の企業や魅力を学生へ浸透させる取組・留学生ネットワークの構築などを期待す  
る—に係る各高等教育機関の取組

## 【郷土教育】

**志学館大学**では、正課科目の中で、①地域参画マインドの育成及び鹿児島での就業について知る機会、②地元経営者とのディスカッションや地域課題調査を通じて鹿児島について理解を深める機会、③幕末・維新期の薩摩藩について学ぶことにより鹿児島の歴史的背景について理解を深める機会を設けている。

**鹿児島県立短期大学**では、鹿児島県の発展に寄与する人材を育てるため、国際感覚を高め、幅広い視点を養成するとともに、鹿児島に関する知識「郷土知」を深め、産業・貿易・観光振興を通じた鹿児島県の発展に資することを目的とした教養科目「かごしまと世界」を開講している。また、鹿児島県が実施する「かごしま青少年海外研修事業」への学生の積極的な応募の推進など国際人材を育成する取り組みを行っている。

**鹿児島女子短期大学**では、教養学科の必修科目「かごしまのダイナミズム」において、「グローバル社会との関係性を契機としてダイナミックに変化する鹿児島」という視点を中心テーマに据え、鹿児島の歴史・食・観光などをテーマとした講義を実施し、地域に貢献できる人材の育成を図っている。

**第一幼児教育短期大学**では、JICA海外協力隊と地域おこし協力隊のコラボレーション企画である「協力隊まつり かごしま 2024」で、「世界の遊びブース」を出展する予定としている。このような地域イベントに、留学生を含め学生が、体験側としてだけでなく開催側としても参加することは、県内若手人材が交流する機会となり、地域での消費の促進、また郷土へのつながりを深める一助となっている。

**鹿児島工業高等専門学校**では、南九州地域の有志企業と連携して、鹿児島高専テクノクラブ（令和6年1月時点で一般会員企業104社）を設立している。会員企業と学生は様々な面で交流をしており、地元企業との交流を通して、地元への関心、郷土愛を深める活動を推進している。令和5年度は、低学年時における地元企業へのインターン、保護者向け企業紹介展示、高専生のための地域企業研究会、特別講義及び企業見学、鹿児島高専テクノクラブ（KTC）会長賞審査会を実施した。

**放送大学鹿児島学習センター**では、一般県民を対象とした公開講演会の中で、鹿児島の自然や歴史等をテーマとした講演を行っている。公開講演会は、主に日曜日を開催して、若者や社会人が参加しやすい環境を整えている。公開講演会の開催が郷土愛育成への一助となることを期待している。

## 【留学生ネットワークの構築】

**鹿児島国際大学**では、卒業した外国人留学生との連携をさらに強化し、海外拠点の礎とすることを目的に、2018年9月、卒業生が最も多く在住する中国・大連で卒業留学生との交流会を開催し、鹿児島国際大学同窓会大連支部を発足した。新型コロナウイルスの影響により、取組が中断していたが、今後大連支部同窓会（交流会）を再開し、卒業留学生ネットワークの再構築及び各種の連携（インターンシップ等）を図る予定である。

**鹿児島大学**では、留学生の卒業・修了後のネットワーク化のため、帰国留学生の国別同窓会の設立に向けて、卒業生（中国、韓国、バングラデシュ等）の既存のネットワークを調査している。また、既存の留学生名簿データを整理し、帰国留学生のデータベース作成を進めている。

## 【鹿児島県の企業や魅力を学生へ浸透させる取組】

**鹿児島国際大学**では、県内の企業を中心に約100社を招き、大学主催の学内合同企業説明会を実施している。また、鹿児島相互信用金庫との産学連携事業として、企業経営の最前線や経営者の考え等を体感・理解する研修プログラム「3日間社長のカバン持ち体験」を実施している。

**鹿児島県立短期大学**では、県内の自治体や団体が実施する鹿児島の魅力を伝えるイベント等に学生が積極的に参加し、郷土の産業や観光の振興に貢献している。

**鹿児島純心女子短期大学**では、鹿児島県肝属郡錦江町と包括的連携に関する協定を平成26年に締結し、「純心水田プロジェクト」を立ち上げ、地域の活性化を目指した商品開発に取り組んでいる。錦江町の純心水田で学生が育てたお米を加工した米粉と地元の特産品を使用した商品の開発・販売の活動を通して、地域の食文化や特産品を知り、地域への関心を高めるとともに、商品開発の難しさを学んでいる。

**鹿児島女子短期大学**では、本コンソーシアム事業の「地元企業よかとこ発見！見学ツアー」への学生参加者増に向けて、様々なチャネルを活用して学生・教職員への周知の機会を増やし、また、運営側の工夫として訪問先の事業所選定において学生の興味を惹く業種の事業所を選定するなどの工夫をした結果、例年より多くの学生から参加申し込みがあった。

**鹿児島大学**では、地域人材育成を目的とした学部横断型の教育を展開する土台となる教育プログラム「地域人材育成プラットフォーム」を実施している。本プラットフォームは、地元での就業を目指す学生に対し、地域活性化に貢献できる能力を育成する「かごしまキャリア教育プログラム」、地域の歴史や伝統文化、自然環境等の特性と課題について多様な視点から理解を深め、自身が暮らす地域の発展に寄与する能力を育成する「かごしま地域リサーチ・プログラム」、地域の課題をグローバルな視点で捉え、グローバルな人的ネットワークで他者と協働して課題解決に向けて行動できる能力を育成する「かごしまグローバル教育プログラム」の3つのプログラムで構成されており、3つのプログラムの修了生が、当該年度に開催される成果報告会において学びの成果を発表している。

## 令和5年度の新たな取組

### 「県内の若手経営者と学生のワークショップ」を開催

令和5年度の新たな取組みとして、鹿児島県商工会議所連合会・岩崎育英文化財団との共催で「県内の若手経営者と学生のワークショップ」を開催しました。

本イベントは、県内の学生に県内のキラリと光る企業や若手経営者について理解を深め、鹿児島でのワークライフの魅力を感じてもらうとともに、県内就職を視野に入れたキャリア形成を図ることを目的に、6月下旬から7月上旬にかけて計4回にわたり鹿児島市天文館で開催され、県内の大学・短大から99名の学生が参加しました。

参加した学生は、最初は緊張した面持ちでしたが、経営者の皆さんが学生目線で、丁寧に仕事の魅力や経営の面白さや苦労、やりがい、鹿児島で働く意義などを語りかけてくださることで、グループ内で積極的に会話をしている様子が見られました。

また、ワークショップ後は、経営者の皆さんとテーブルを囲み、食事を共にしながら懇親会が開かれました。

参加した学生からは、「経営者から直接話を聞く機会はあまりないので、とても良い機会になった」「経営者視点で働くことを伺えたので、多くのことを学ばせていただいた」などの感想が寄せられました。経営者の方からは「学生さんと直接お話できた事で、多くの気付きと元気をいただいた」「学生さんと語らう中で自分の考えをブラッシュアップすることができ、非常に有意義な時間を過ごすことができた」とのお言葉がありました。ご協力いただいた県内若手経営者及び参加した学生にとって大変有意義なイベントとなりました。



(若手経営者から話を伺う様子)



(懇親会の様子)